

第57回 建築士会全国大会 ふくしま大会に参加して

報告者：下川 綾子

今回、はじめて建築士会全国大会に参加させていただきました。

大会初日は、郡山市にあるビッグパレットふくしまにて、交流セッションと大会式典に出席しました。

東日本大震災以降の福島県における建築士の活動や、防災・減災についての取り組みと今後の課題など、今の福島県の現状を知ることができました。

建築士として私たちに出来ることは何か？と改めて考える良い機会となりました。

二日目・三日目は、エクスカーションGコース「会津街道と紅葉の裏磐梯ゴールドライン・レークラインの旅」に参加しました。

●前沢曲家集落

早朝に郡山を出発し、バスに揺られながら、車窓からの景色を楽しみました。

のどかな田園風景を通り過ぎ、色鮮やかに木々が紅葉している山道へと入っていき、さらにさらに山奥へ行ったところに茅葺屋根の曲家集落がありました。

曲家（まがりや）とは、L字型に建てられた民家のことで、南会津町の舘岩地域には、この曲家が数多く残っています。

曲家は、人が暮らす家と馬を飼うための「うまや」をひとつにした構造となっており、雪深い地域で暮らす為のさまざまな工夫が施されていました。

資料館となっている家の囲炉裏で焼いた、ホクホクのじゃがいもをいただきながら、曲家での暮らしぶりを皆で見学しました。



●塔のへつり

紅葉のベストシーズンで、観光客で大賑わいでした。

百万年の歳月をかけて浸食と風化を繰り返した見事な岩壁を見ながら、昼食をいただきました。



●大内宿

こちらも週末ということもあって、大変な賑わいでした。

大内宿は、戦国～江戸時代に会津若松と日光今市とを結ぶ下野街道沿いの宿場町として栄えたところです。

宿場町としては、長野県の妻籠宿、奈良井宿に次いで全国3番目の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されているそうです。

30軒以上ある茅葺屋根の民家を通り過ぎた先で、少し山に登ってみました。

山の上から街並みを見下ろしてみると、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような、本当に不思議な体験をすることができました。

よくここまで、当時の街並みを保存できたなあと大変驚きました。



●坂下東幼稚園

二日目の最後に、福島県建築士会の方のご案内で、県産材を使用して建てられた木造の幼稚園を見学させていただきました。

こちらの幼稚園は、福島の8人の建築士の方が一緒にプロポーザルに参加、設計された建物です。

遊戯室や図書スペース・保育スペースなど仕切りがなくとても開放的で、地元の木材の特性を生かした、構造的にもよく考えられた作りとなっていました。



●鶴ヶ城

大河ドラマ「八重の桜」で有名となった白い壁と赤い瓦が特徴的な鶴ヶ城です。天守閣からは会津盆地を遠くまで望むことができました。

お城の中は、江戸時代の会津の産業や幕末史などの展示がありました。

昭和に再建されたお城ですが、石垣は当時のままのもので、よく見ると見事な巨大な石が積まれています。

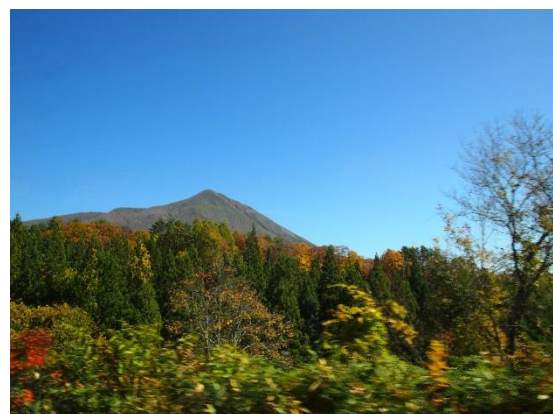


●磐梯山ゴールドライン

裏磐梯高原から会津をむすぶ、磐梯山麓を走るドライブコースです。

まさに黄金色に色付いたブナの林をバスの車窓から楽しみました。

バスガイドさんが樹木に詳しい方で、熱く語られていて面白かったです。



●五色沼と磐梯吾妻レークライン

磐梯山は噴火の後、裏磐梯三湖を含めて約300の湖沼群ができたそうです。

磐梯吾妻レークラインの途中で、湖を眺めながら昼食をいただいた後、五色沼の中で最も色合いが美しいといわれる毘沙門沼へ行きました。

毘沙門沼はエメラルドグリーンのような色合いでとても美しかったです。

からだにハート模様がある鯉が有名になっているようで、多くの人が鯉を探して写真を撮っていました。



エクスカーションに参加した二日間はお天気に恵まれ、また紅葉がいちばん綺麗な週末に当たり、本当に気持ちの良い、楽しい秋の行楽となりました。

訪れた先々では、福島県建築士会の皆様に案内していただき、母とふたりで会津地方の街並みや歴史・自然を満喫することができました。

本当にありがとうございました。

